

平成30年6月13日

各位

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門
動物・海洋生物科学講座 家畜生産生態学分野
助教候補者選考委員会
委員長 古瀬 充宏

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門
動物・海洋生物科学講座 家畜生産生態学分野
助教候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり大学院農学研究院 資源生物科学部門動物・海洋生物科学講座 家畜生産生態学分野助教候補者を公募することになりました。

つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

助教・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する助教は、大学院農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 資源生物科学専攻 動物・海洋生物科学教育コース担当教員となります。

当該職が担当する家畜生産生態学分野は、家畜生体機構学分野、動物繁殖生理学分野、代謝・行動制御学分野、畜産化学分野、海洋生物学分野、水産増殖学分野、水産生物環境学分野、アクアフィールド科学分野とともに動物・海洋生物科学講座を構成し、陸圏と水圏における良質な動物性タンパク質の持続的安定供給ならびに動物資源生存環境の保全を目的として、動物生産の基盤である生命現象の生理学的解明、動物体に含まれる機能性物質の探索と健康科学への応用、環境と調和し生態系に配慮した動物生産システムの構築、多様な動物資源の生存環境保全と高度利用を支える植物基盤の整備等、動物資源の生産環境生命科学に関する諸問題を多様な視点から解明することを目指しています。また担当する大学院教育コースにおいては、これらの研究に関連する基礎及び応用研究開発に携わる人材を組織的に養成するための教育を進めています。

当該部門、当該講座の目標を実現するにあたっては、畜産物の持続的安定供給、特に、環境調和型動物生産システムの構築ならびに資源動物の生存環境保全と高度利用を支える植物基盤の整備に関する教育研究が不可欠であります。

その中でも、

- 1) 環境保全型の動物生産技術の開発
- 2) 家畜の生産性を向上させる飼養管理技術の開発
- 3) 耕作放棄地や中山間地の未利用植物資源の効率的利用および管理に関する畜産形態の確立

等の領域における教育研究を推進しうる方を求めています。

3. 採用予定時期

教授会承認後可能な限り早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域1)～3)において優れた業績と該博な識見を有し、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方。

5. 担当授業科目

(1) 大学院修士課程

(資源生物科学専攻動物・海洋生物科学教育コース)

動物・水圏資源保全学、動物・海洋生物科学特別研究第一、動物・海洋生物科学特別研究第二、フィールド畜産特論など

(国際コース)

Advanced Animal & Marine Bioresource など

(2) 大学院博士後期課程

(資源生物科学専攻動物・海洋生物科学教育コース)

動物・海洋生物科学特別講究、動物・海洋生物科学特別演習、動物・海洋生物科学特別実験など

(3) 学部

動物行動生態学(分担)、農場実習Ⅰ、農場実習Ⅲ、農場実習Ⅴ、牧場実習、飼料学(分担)、科学英語(分担)、卒業研究など

(国際コース)

Environmental and Ecological Science for Animal Production

(各コース共通科目)

農学入門Ⅱ(分担)

6. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録

I 原著論文(本人の氏名にアンダーライン、本人が責任著者の場合は*)

(著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年)

(i) 査読付雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) 国際学会プロシーディングス、(iv) その他で区分すること

II 著書(著者名、題名、発行所、発行年)

III 総説・解説等(著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年)

IV 特許(発明者名、発明の名称、特許番号、特許登録年月)

V 学会での受賞(受賞者名、賞の名称、受賞内容、学会名、受賞年月)

VI 国際学会等招待講演(講演者名、講演題目、講演学会名、講演年月)

VII 外部資金導入実績(名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担の別を記す)

VIII 教育実績: 担当授業科目等

IX その他(資格等)

- (3) 主要論文の別刷りまたはその写し（5編）
- (4) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負（1,500字以内）
- (5) これまでの教育の実績と今後の教育に対する抱負（1,500字以内）
教育実績のない場合、今後の教育に対する抱負
- (6) 上記（1）、（2）、（4）、（5）のWord形式のファイルとPDF化した書類を保存したUSBメモリー
- (7) 推薦書
自薦の場合：自薦書、および応募者の教育・研究等について問い合わせのできる方2名の氏名および連絡先
他薦の場合：推薦書（2通）

7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

8. 勤務地

農学部附属農場高原農業実験実習場（〒878-0201 大分県竹田市久住町大字久住4045-4）

9. 提出締切

平成30年8月13日（12:00）必着

10. 提出書類の送付先

〒819-0395
福岡県福岡市西区元岡744
九州大学大学院農学研究院
代謝・行動制御学分野
（家畜生産生態学分野助教候補者選考委員会）
委員長 古瀬 充宏
電話：092-802-4598
E-mail：furuse@brs.kyushu-u.ac.jp
書類は書留またはそれに準ずる方法で提出のこと。

なお、現在九州大学農学部はキャンパス移転中のため郵便物の受取に問題が生じるおそれがあります。書類を投函された際には念のため、委員長までメールでご連絡ください。

11. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。また、「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。

- (2) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページ
(<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>) を参照してください。
- (3) 送付された資料は返却いたしません、選考以外の目的には使用しません。
- (4) 給与等についての問い合わせ先：
九州大学農学部庶務係（電話：092-642-2802）
- (5) 採用当初、一定期間、年俸制教員(任期有)となる可能性があります。